

科目番号	科目名	担当者	単位	配当年次	開講セメ
11L459・460	フランス文学演習 Ib・IIb	中尾充良	4	3・4	通年

## 1. 授業のテーマ・目標

「フランス近現代小説入門」

今年度は、20世紀フランスを代表する小説家の一人であるジャン・ジオノの代表作である *Un Roi sans divertissement* (『気晴らしのない王様』) を読む。ジオノは、日本では『木を植えた男』の作者として環境文学の観点から語られることが多いが、その生涯を南仏プロヴァンス地方の町マノスクで過ごした、地域的であるとともに普遍的な視点を持った作家としても知られる。この授業が、南仏プロヴァンス地方をはじめとするパリ以外のフランスへの理解を深めるとともに、ジオノ文学へのよき入門となることを期待する。

## 2. 授業形態

訳読形式。

## 3. 授業内容・スケジュール

「要約」や「夏休みの課題」等によって進度を早め、とにかく最後まで読みきることを目標とする。

## 4. 評価方法

上記の訳読に加えて定期試験(中間)、さらに期末レポート(作品論)を提出してもらい、総合的に評価する。定期試験は、仏文和訳を中心に出题する。

## 5. テキスト・参考図書

〈テキスト〉

Jean Giono, *Un Roi sans divertissement*, Gallimard, coll. Folio n°220, 2004.

(一括購入済、最初の授業の時に販売する。(800円程度の予定))

〈参考図書〉

ジャン・ジオノ『木を植えた男』寺岡 襄訳、あすなろ書房。  
 ジャン・ジオノ『木を植えた人』原みち子訳、こぐま社。  
 ジャン・ジオノ『気晴らしのない王様』酒井由紀代訳、河出書房新社。  
 ジャン・ジオノ『いかさまトランプ師の冒険』酒井由紀代訳、河出書房新社。  
 ジャン・ジオノ『屋根の上の軽騎兵』酒井由紀代訳、河出書房新社。  
 ジャン・ジオノ『喜びは永遠に残る』山本 省訳、河出書房新社。

Mireille Sacotte, *Un roi sans divertissement*, Gallimard, coll. Foliothèque n°42, 1995.

C. Lelievre, *Un roi sans divertissement Giono*, Ellipses, Résonances, 1999.

*Un roi sans divertissement de Jean Giono* (Collectif), Hatier, Profil Littérature n°105, 2003.

Paule Andrau, *Un roi sans divertissement de Jean Giono*, Bréal, Connaissance d'une œuvre, 2003.

I. Lejault, *Un roi sans divertissement de Jean Giono*, Pocket, Guides Pocket Classiques, n°6295, 2003.

Philippe Segura, *Jean Giono Un roi sans divertissement*, Ellipses, 2004.

Michel Gramain, *Un roi sans divertissement de Jean Giono*, Ellipses, Diagonales, 2004.

〈映画等〉

『河は呼んでいる』(フランソワ・ヴィリエ監督作品) 1958.

『木を植えた男』(アニメーション、フレデリック・バック作品) 1987.

『プロヴァンスの恋』(『屋根の上の軽騎兵』)(ジャン＝ポール・ラブノー監督作品) 1995.

## 6. その他(履修者への要望など)

毎週必ず辞書を引いて予習をしてくること。

言語と文化  
課題図書

